

令和7年度

中原小学校5年生

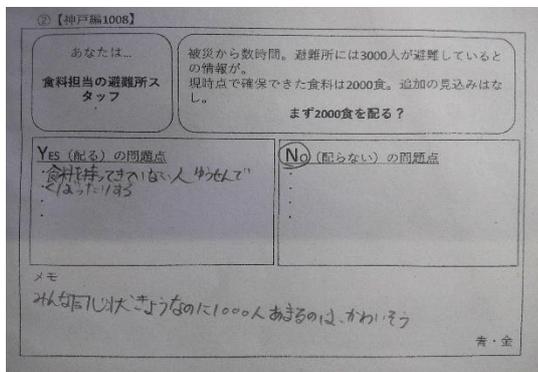
地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：レスキュー・レンジャー（防災）
（活動名）

- ねらい：
- ・災害の種類について知る
 - ・災害対策について知る
 - ・いろいろなケースについて考え、話し合う
 - ・新聞にまとめる 発表



【令和7年10月15日(水)】

ゲストティーチャー、西東京レスキューバードによる特別授業が行われました。

【1校時】

西東京市も地震対策や避難所対策が行われていることを理解しました。

- ・学校もコンロになるベンチなど対策をしている
- ・物資やスペースに限りがあり、全員が避難できるわけではない

【2校時】

グループで様々なケースについて考えました。

もし、自分が受験生、被災者、ボランティアスタッフ、市民だったらと仮定し、その場合の対応の仕方について話し合いました。

受験生 避難所の手伝いをやめて勉強するかしないか？

私は受験勉強を優先すると思います。その上で、将来自分が貢献した方がよいと考えたからです。

避難所を手伝います。みんなが大変な中では、集中できないし、避難所の人を助きたいからです。

コラム 日本は災害大国です。そのことについて社会科で災害の種類や対策など知識を中心とした概要について学習していました。しかし、学んだにも関わらず、多くの児童がどこか遠くで起きていることとして考えており、自分事として捉えていませんでした。そこで、総合的な学習の時間を使って、自然災害は、実は身近でいつでも起こり得ることであることを理解できるようにしました。さらに、いろいろなケースに応じて、自分だったらどうするかということの話し合いや西東京市の防災ジオラマを見ることを通して、災害を自分事として捉えることができるようになりました。